

# 岡山県の地震

## 令和3年(2021年)2月

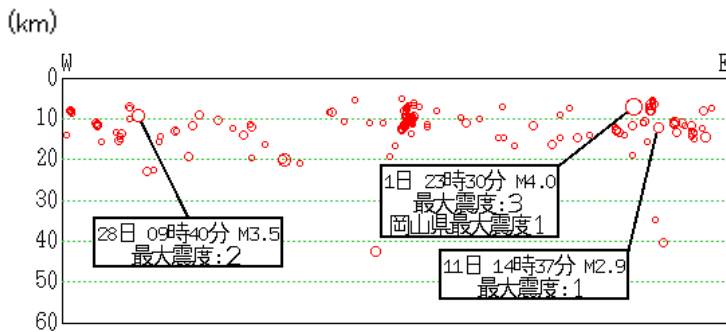
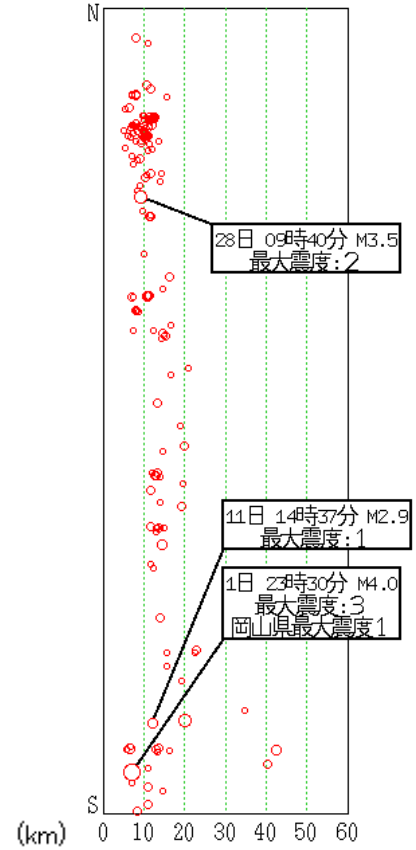
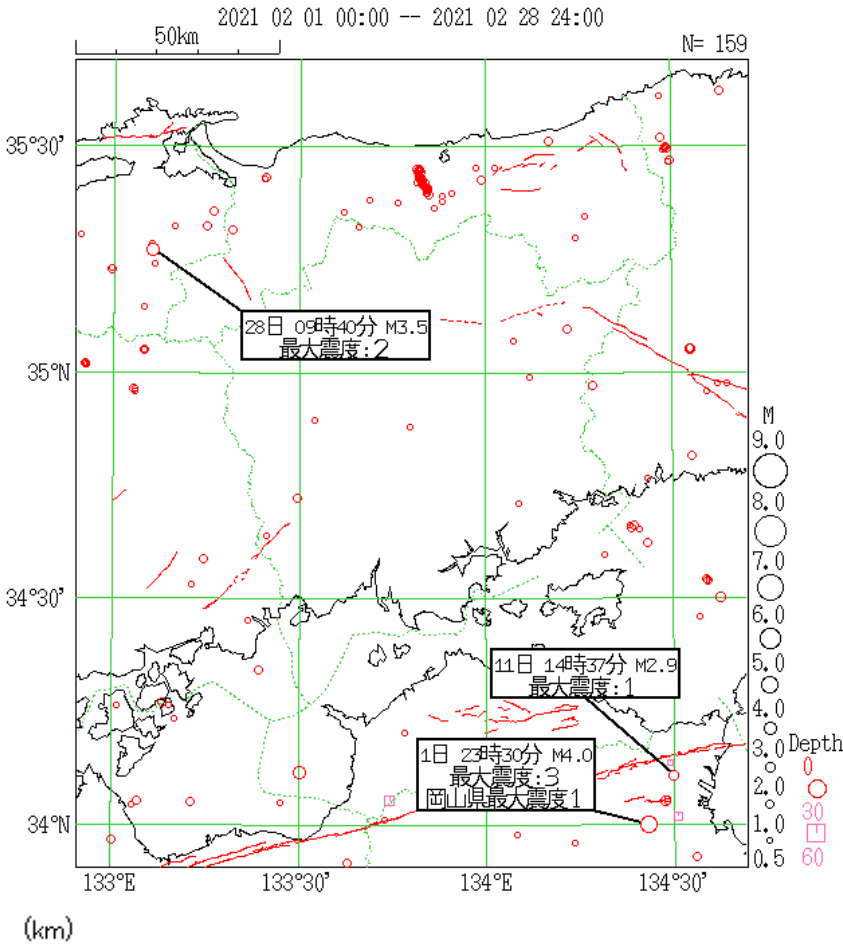
### 目次

○岡山県及びその周辺の地震活動（2月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 2, 3
○地震防災メモ No.182	
地震情報の流れについて	… 4

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
- この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

# 岡山県及びその周辺の地震活動(2月)

## 震央分布図及び断面図



左上 震央分布図 (地図内の細線は活断層を表しています。)

右上 南北断面図

左下 東西断面図

図中の注釈 (吹き出し) は、震度1以上を観測した地震について最大震度などを表しています。

## 概況

### 2月の概況

- ・上図の範囲内で2月に震度1以上の揺れが観測された地震は3回 (前月: 2回) でした。
- ・岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は2月中に2回 (前月: 2回) あり、そのうち震央が上図の範囲内での地震は1回、範囲外での地震は1回でした。

## 岡山県における震度1以上を観測した地震の表(2月)

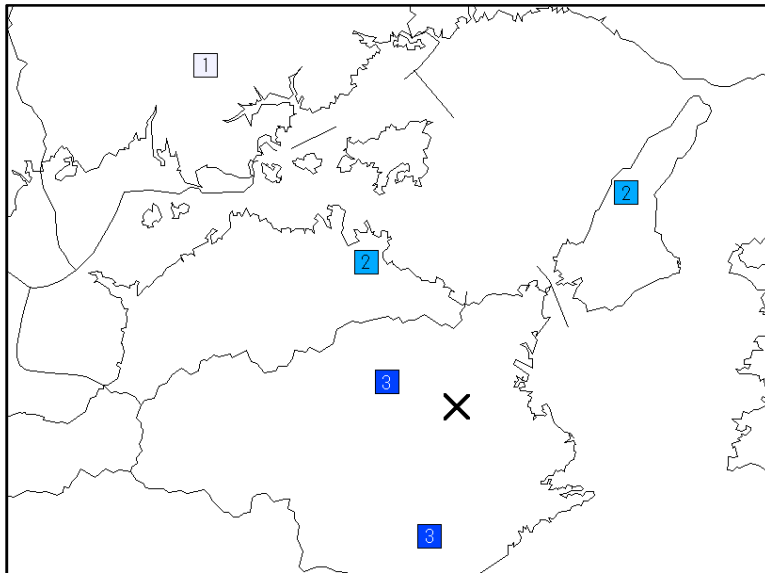
2021年02月01日23時30分 徳島県北部	34° 00.0' N 134° 25.8' E 7km M4.0
----- 地点震度 -----	
岡山県 震度 1: 倉敷市下津井*, 玉野市宇野*, 瀬戸内市邑久町*, 瀬戸内市長船町*	
-----	
2021年02月13日23時07分 福島県沖	37° 43.7' N 141° 41.9' E 55km M7.3
----- 地点震度 -----	
岡山県 震度 1: 真庭市蒜山下福田*, 真庭市蒜山上福田*	
-----	

- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。  
 なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。
- 2 地名の後に\*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点です。  
 なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

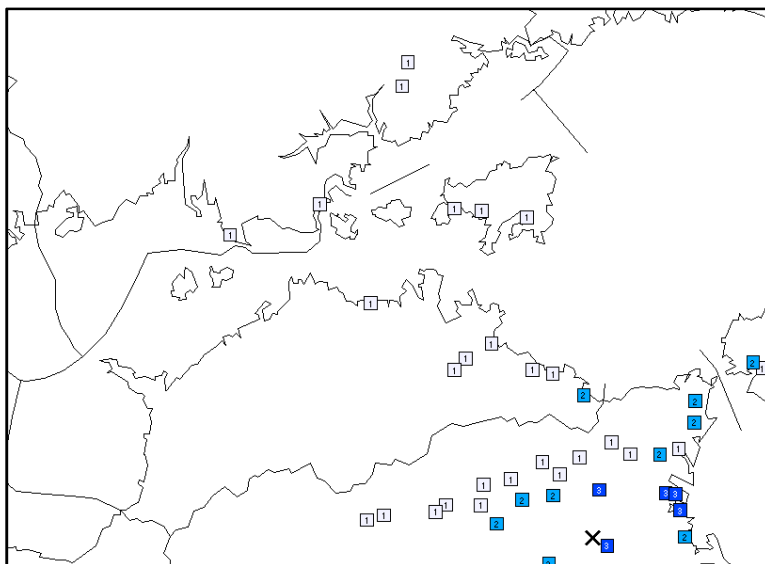
## 岡山県における震度1以上を観測した地震の震度分布図(2月)

### 2021年02月01日23時30分 徳島県北部の地震

各地域の震度分布 (岡山県と震央付近)



### 岡山県及び周辺観測点の震度分布



**×は震央**

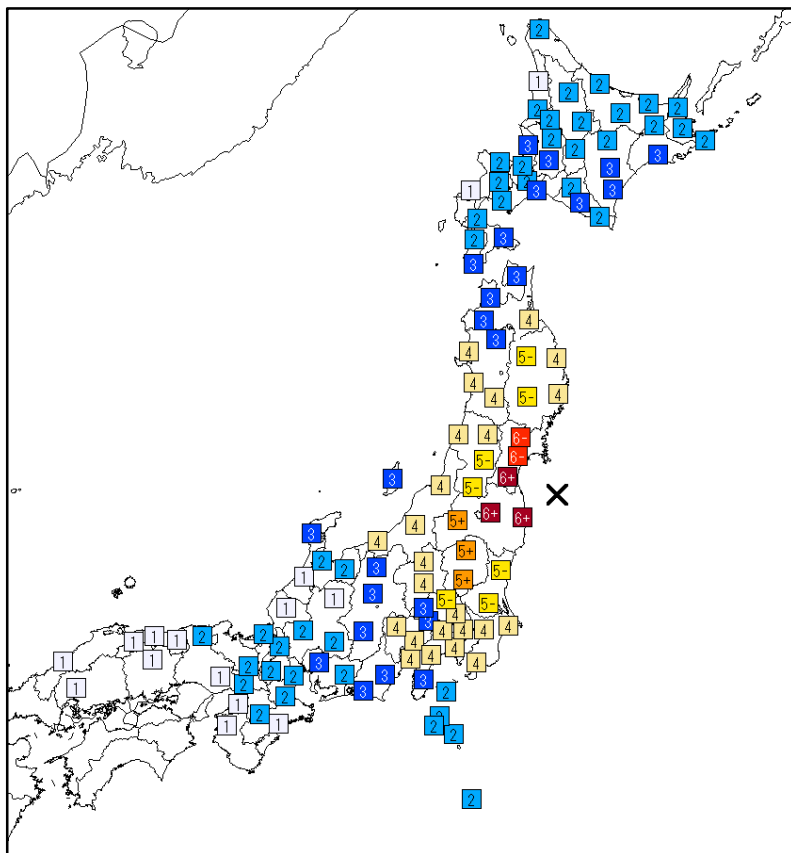
凡例

7	震度7
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

# 岡山県における震度1以上を観測した地震の震度分布図(2月:続き)

2021年02月13日23時07分 福島県沖の地震

各地域の震度分布 (岡山県と震央付近)



## 岡山県及び周辺観測点の震度分布



×は震央

凡例	
7	震度7
6+	震度6強
6-	震度6弱
5+	震度5強
5-	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

## 地震情報の流れについて

気象庁では、体に感じない地震も含め、全国の地震活動について、東京と大阪で24時間監視しています。そして、震度1以上を観測する地震が発生した場合には、震源や震度に関する情報を発表します。図1は、津波警報等の発表がない場合の、時間経過に伴う地震情報の発表の流れを示しています。

震度3以上を観測した場合、地震発生から約1分半以降に、**震度速報**を発表します。この時、震度3以上を観測した地域名を用いて発表します。(岡山県では、「岡山県北部」か「岡山県南部」の名称を用います。図2参照。) この情報は、強い揺れを観測した地域をいち早くお知らせするもので、防災対応の立ち上がりなどに活用されます。

その後、震源(緯度、経度、深さ)や地震の規模(マグニチュード)が判明し、津波の有無を判定します。津波の心配がない、または、若干の海面変動(津波注意報を発表する基準には達しない程度の小さな津波が観測される可能性がある場合)であれば、**震源に関する情報**を発表します。[津波の心配があれば、津波警報等(大津波警報、津波警報、津波注意報)を発表します。]

ここまでの、**震度速報**と**震源に関する情報**は、震度3以上が観測された場合に発表します。

**震源・震度に関する情報**では、震度3以上を観測した市町村をお知らせします。震度計が複数ある市町村では、観測された最大の震度がその市町村の震度になります。また、震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合(未入電ともいいます)は、その市町村名を発表します。万一、震度データが届かない場合でも大きな震度となっているかもしれないことをお知らせします。

最後に、**各地の震度に関する情報**を発表します。震度1以上を観測したすべての観測点について、震度ごとに観測点名をお知らせします。また、震度5弱以上と推定される観測点で震度を入手できていない観測点名をお知らせします。

このように、時間の経過とともに、より詳しい情報を発表します。

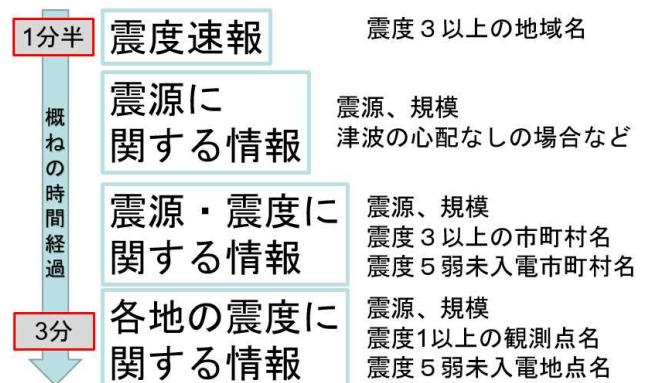


図1 地震情報発表の流れ(津波のない場合)

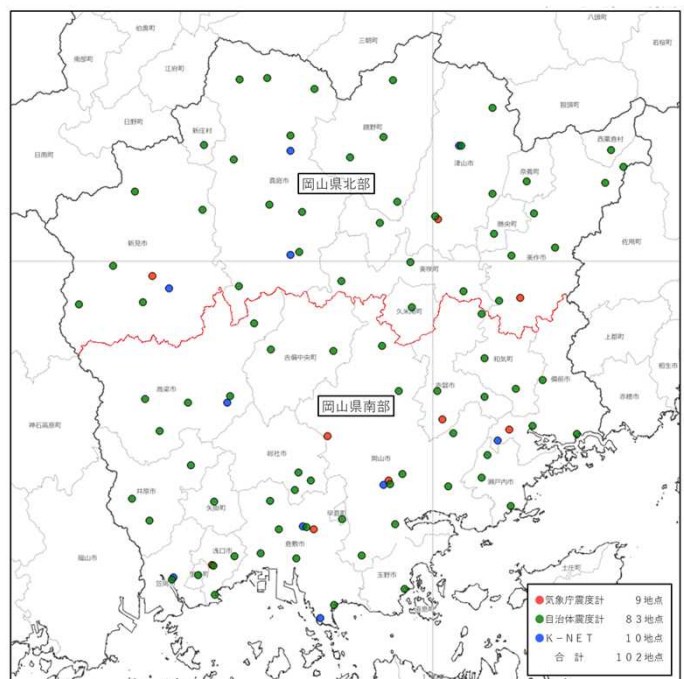


図2 震度観測点と震度速報で用いる地域名